

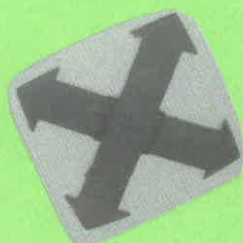
忍者って何者?!



ぼくの



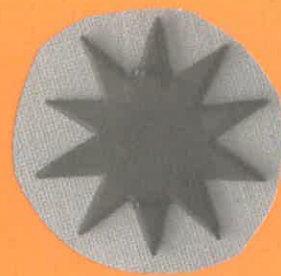
「忍者ブック」



高松市立
かめおか小学校
3年 田所 瑞基



目次



1、はじめに	P1
2、言周べる方ほう	P2
3、忍者っていったい何者？	P3
・「七方出」とは	P5
・忍びしょうぞくとは	P8
4、忍者は本当にいたの？	P9
・忍者のれきし	P10
・忍者はなぜ「いが」や「甲から」で た人生したの？	P12
・忍者が活躍したせん国時代だい	P14
・ゆう名な忍者たち	P15
・全国忍 者マ ップ	P18

5、忍者はどこに住んでいたの？ P21

・じっさいに忍者やしきを見てきたよ P22

6、忍者はどんなしゅ行をしていたのか？ P29

・体をきたえるしゅ行 P31

・心をきたえるしゅ行 P37

・ぎじゅつをみがくしゅ行 P38

・忍者のちえ P40

7、おわりに P42

さん考文けん



はじめに

ぼくは、「忍たま乱太郎」の本や、「NARUTO」の漫画が好きで、よく読みます。ぼくは、2年生の時から友だちともよく「忍者修行ごっこ遊び」をしています。

⑤「今日は友だちと何をして遊んだの？」

⑥「忍者修行ごっこ遊びをしたよ。」

⑦「どんな修行をしているの？」

⑧「手裏剣をおり紙で作って投げたり、身にかくしたり、はやく走ったりしているよ。」

⑨「たしか、三重県の伊賀に忍者の里があったような・・・。」

と言うお母さんの話から、忍者にきょうみのあるぼくは、「絶対に行きたい!!」と思いました。インターネットでさっそく、伊賀について調べてみると、からくり忍者屋しきのからくりを見たり、忍じゅつの実えんショーで本当の忍じゅつを見たりできるんだと、わくわくしてきました。

そこで、夏休みに家族で、忍者が有名な「伊賀」と「甲賀」へ行って、忍者について調べることにしました。



調べる方法

ぼくは、高松市立中央図書館へ行き、「忍者」というキーワードで調べると、「忍者のしゅ行」や「忍者の図かん」にかんけいする本が20さつほど見つかり、全てかりて、さっそく読んでみました。「忍者」が一番活やくした時だいは、「せん国時だい」だったので、歴史の「せん国時だい」にかんけいする本もかりてみました。歴史の本には、「忍者」については、ほとんど書かれていませんでした。本を読んで調べていくうちに、「忍者」の中には、「せん国大名」や「しょう軍」に仕え、助けた有名な「忍者」がいたことも分かってきました。でも、なぜ、「忍者」のことは、歴史の本の中では、あまり書かれていないのだろうと、ふしぎに思いました。

「忍者」にかんする本には、「忍者のおきて」があったことを知りました。「忍じゅつは、国のためにつかうべし」「ひみつを守るべし」「忍者であると気づかれぬようにする」とありました。また、ぼくが思っていたてきをたおすための「忍者」とはちがい、じょうほうを集めることが「忍者」の仕事なので、「忍者」のことはひみつにされていたことが、たくさんあったから、歴史にかんけいする本には「忍者」についてはのっていないのかなと思いました。

8月10日に、三重県伊賀市にある「伊賀流忍者博物館」へ行き、「伊賀流忍者屋敷」で「どんでん返し」や「かくし階だん」などのからくりを見ました。それから、忍者実演ショーで、「手裏剣の打ち方」や「くさがまの使い方」や「九字ごしん法」を実さいに見ました。

8月11日に、滋賀県甲賀市にある「甲賀の里 忍術村」で、「甲賀屋敷」を見たり、忍者道場で実際に忍者修行の体験をしたりしました。手裏剣体験では打ち方を教わりました。

本や図鑑で調べたことと、自分が体験してきたことをかさねながら、ぼくの「忍者ブック」にまとめていきました。



忍者っていったい何者？



マンガの「NARUTO」では、てきとたたかっていたので、忍者はてきとたたかててきをたおすのが忍者だと思いました。



音もなく忍びこみ、じょうほうをあつめ、てきをかくらんする。

①じょうほうをあつめる

②てきをまどわせる

③てきの不意をつく

①じょうほうをあつめる

じょうほうをあつめることで、てきのぐんびやしろ、とりでの様子を知らることができれば、たたかいをゆうりにすすめることができる。しかし、じょうほうをあつめていることがてきにばれれば、とらえられころされてしまいます。まさに命がけのしごとだった。

てき地にせん入する

しん入

てきの屋しきに忍びこみ、天井のうらや、ゆが下にひそむ。きたえた目はくらやみの中でも光なしですすむことができ、きたえた耳は小さな話し声も聞きとることができた。

へんそう

おばうさんやきこりなど、いろいろなしょくぎょうの人になりすまし、じょうほうをあつめる。3

- ・かんさつする
- ・ぬすみ聞きする

② てきをまどわせる

- ・うそのじょうほうをながす

てき方のへいにへんそうしててきのぐんの中に入り、「○○がうらぎったぞ!」てきは北からくるぞ」などデマをながし、てきぐんに二んらんをまき起こした。どうようしたてきぐんを味方同しであらそわせたり、たたかいがはじまる前にてきの気力をそいだりするこうかがあった。

③ てきの不意をつく

夜うち

暗やみにまぎれててきのじょう内に忍び入り、あちこちに火をはなて、てきぐんを大こんらんにおとしいれたり、じょう門を内がわから開けて味方のぐんぜいをまねき入れたり、思いがけない方ほうでてきをおそった。

暗さつ

てきのしゅような人物をねらい、暗さつを企むこともあった。

まちぶせ

平和を守るために、いろいろなじょうほうをはやく、正かくに、自分の目で耳でたしかめたものを大名にほうこくしなければいけないため、生きて帰ることがひつよう。

てきに見つかってしまっても、うまくにげ切ることができる忍者がゆうしゅうともいえる。

忍者のへんそうについて

おもにほう下し(たびげい人) さら(役者) 楽しむ(役者)
こむそう、そうりょ、山ぶし、しょう人、一
ぱんしょ みるみのワツのすがたにへんそうした
ことから、**モ化** または **七方出** とよばれている。

忍者はへんそうのたつ人!!

「そうりょ」ならおきょうを声に出してよむ

「こむそう」なら尺八

そのしよくぎょうどくとくの技を身につけていた。

顔にせん料をぬって顔色をわるくしたり、何日もごはんをひかえてやせたりもして身もバもその人になりきっていた。

しちほうでい
七方出



忍びょうぞく

忍者がき土せへ
せん入するときには、
たびをしていてもあ
やしまないしく
ぎょうなワツのスタ
イルにへんそうし
た。

つねの形

ふだんぎのすがたのこと

しゅう人

たびをしなが
らしゅうをいを行
った。あがしられ
ずに話を聞
こしができた。



山ふらし

しゅうきょうのしゅう
者。がちをたびし
ながらしゅう行や
おまじないを行
った。



ほう下し

手品や きょくけいをひろ
うしながら全国をたびしたがい
人。見物きょくと気がるに話
せるのでしゅうほうしゅうめい
すかった。

出稼

ぶっきょうのそうぶっきょうの
教えをひろめるために
たびをしっているあがし
れずにた国に出入りした。



〈参考〉

- ・「なるほど忍者大図鑑」 国土社 ヒサクニヒコ P30
- ・「サイエンスコナン 忍者の不思議」 小学館 青山剛昌 P27



こゝろ

いっせ 教しゅうはのそう。

しゅうのたぬいかにあみ
がさをかぶった全国をたび
して回った。しゃく八をい
てたべ物やお金をもらう。



せん国時ノゴいしに人
があつた。しはいの役者。
せん国だ、いみょうからまわ
れてしろややしよにせん入い

さる身し

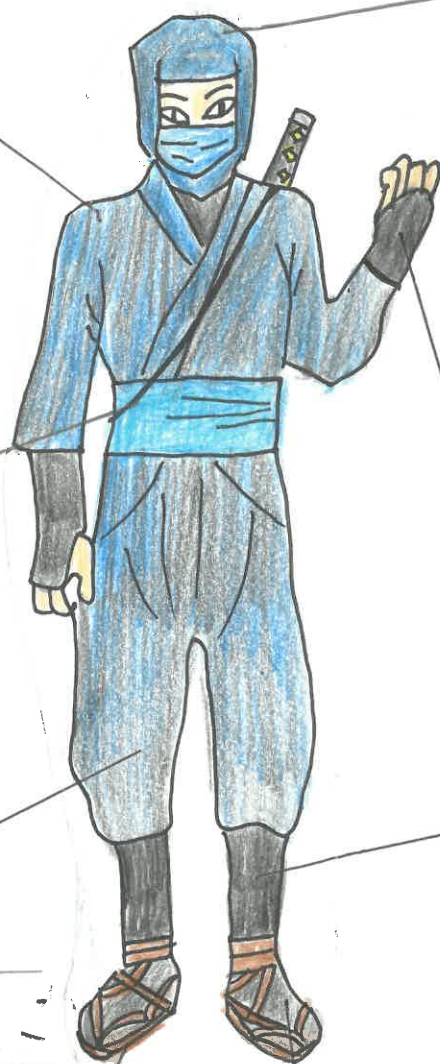
<へんそうのれい>

てきをゆだんさせるた
めに、女にもへんそ
うした。



かおにけしゅうをしたり、かつらでかみがたをかえたり、
どくなどでかおのかたちをかえたりしていた。
あつちの方ほうで、忍び者だと見やうづかれないうに
していた。

これが忍びしょうぞく



上 い

いろいろな所にかく
しポケットがある。

おび

わになれているので
あはやくあすべる。

はかま

うぶきやすいように、むしこ
よゆうがあって、すそのほうに
くにしたがってすばまっている。

ぞうり

こおつ道をすすむときにすべり
じめのかたきをつけた。

ずきん

長さか2mあり
ほうたいやロープの
かわりにもなる。

手甲

ぶき矢の矢やほうちり
けんを入れるポケットがある。

きやうはん

すねのぶつのかくし
ポケットにほうちりけ
んを入れるといまうにもなる。

たいし

目立たないように黒く
そめ、足おともけすために
そこにわたをいれた。

＜参考＞「サイエンスコナン 忍者の不思議」 小学館 青山剛昌 P24. 25
「忍者図鑑 ② 忍者のくらし」 ベースボール・マガジン社 黒井宏光 P18. 19

＜忍びしょうぞくがこん色や茶色だった理由＞

①くらやみにとけたみやすく、一は人のふだんきと同じ色
で目立たなくしていたから。

②こん色や茶色のせんうは、きんおびよけ、虫よけ
のこうかがあったから。



忍者は、てきをたおすのではなく、見つからないようにしょうほうをあつめるのが忍者だとわかりました。忍者はへんそふのたつ人で、へんそふだけじゃなくどくで、がおの形までかえていのちがけななよと思いました。「忍びしょうでく」の一つ一つにも、エいいうやしかけがあつていみのあるいくそうだと思いました。ただかうより生きて帰ることが何よりも大切だとわかりました。



忍者は本当にいたの？



「忍者ハットリくん」や「NARUTO」などのまんがの中だけでとうきょうするので忍者はげんじつにはいないと思います。もしいたとしたら、おとの木美がいた時だいに、いくさの手つだいでたたかいをしていたと思います。



「日本書紀」に、601(すいぎの)年、葉^ハケギからやって来た間^マカミ(スパイ)をつまらえた」とある。同じく日本にもこのようなスパイ生活を行^イう者がいたと思^{オモ}われる。587(用^{ヨウ}明天^{メイテン}のう)2年の牛^{ウシ}勿^{ナシ}のべしとそがしのたたかいて人にしられないようにかつやくした大^{オホ}ともの糸^{イト}曲^{マド}人^{リョウ}がしょうとく太子より「しのび」の名をさずかった。忍者が一番活やくしたのはせん国時^{センコクジ}だいい。えいゆうたちをうらでたすけしょうりへみちびいていた。

忍者のれきし

せい
西れき 500年

...忍者 ...えいゆう・名しう

あ
す
か
時
だ
い

600年

700年

800年

900年

1000年

1100年

1200年

れきしに忍者がはじめてとう場!!

甲がの犬ともの^あ忍びとしてつか、た。しゅうとく太
子^こがたくさんの人が一度に話す内容を聞きわけた、という
話は、じつは前もって忍びが調べておいたからかもしれない。

天む天のうも忍者を使、た!!

多^たこ^こやという忍者がてきのしろに忍びこみ、火をはな、た。

げん平合せんでも忍者活やく!!

いがり、う忍じ、つのそといわれるいが(は、とり)家長は、
平家の平知^ちもりに仕え多くのいが忍者を使、て、あんとき
天のうと三しゅのじんぎを守るためたたか、た。げんじが
わのいせさぶろうよしもりもいが忍者だ、たといわれる。

南北朝のらんのかげに忍者あり!!

かまくらばくふをたおそうとするくすの木正しげのぐんに
48人のいが忍者がしたか、た。正しげがしろにたてこも
った時に、いが忍者がひそかに食りょうなどをはこび入れ
てしょうりしたという。

1300年

時
か
ま
だ
い
ら
時
南
だ
い
北
朝

忍者ざらいのお田信長!!

1579年、信長の次男・信勝がいがをせめるがまける。

1581年、おこった信長がたいぐんをひきいていがをせめ、いがはやぶれる。信長はいがをばけものの国ときらった。

1400年

室
町
時
だ
い

忍者にたすけられたとく川家やす!!

のぶ長の死の直後、いが・軍かの忍者にたすけられ、ぶ事にいがごえし、はま松にもどった。忍者に一目おいた。

1500年

室
町
時
だ
い

平和になり仕事のない忍者のーぶは、はんに住えた。

1600年

江
戸
時
だ
い

せんぞく忍者をかかえたとく川よしむね!!

江戸へのぼる時にさしゅうの忍者をつれていき、自分せん用のおにわはん(忍者)にした。

1700年

1800年

時
明
だ
い

黒船にのりこんだいが忍者!!

いがのさあむらじみ三づろうにめいれいがくだされて、黒船のパーティーにまぎれこんでパンやたばこなどを持ちだしてだっ出した。

1900年

日月い時だいにになり忍者の仕事がなくなつた。

忍者はなぜ「い」が「や」甲かて

たん生したの？ 忍者のふるさと？！

「い」がはくいつ自官て言周へたよ！！

いかりゅう忍者が生まれた王里由

- ① いがは山にかこまれた土地だった。
 - ・ しつとの高い風がは、生しやくそうや草木がそだちやすいので、くすりや火薬を作っていた。
 - ・ 谷や山にかこまれた土地で、人がにげ、かくれることができた。

いがの国は、みやこから近くせいじや文化の中へ地に近いうえ、ひみつをまもれる。

- ② 自分たちでせいじを行い、だんけつしていた。
 - ・ 国をまとめるべき宇ごのかが弱く地ざむらいのかが強かった。

- ③ しゅ行できる山やじいんが近くにわった。
 - ・ 忍者は山伏からぎじつを学び取っていた。

三つの理由からひみつを自分たちの中だけで守っていたため、たたかいをあまりせず、じょうほうをあつめる忍びのじゅつは、はったつしたとかんがえられている。

甲かりゅうリアル忍者館でしるべナは!!

甲かりゅう忍者が生まれた理由

① 甲かの立地

- 甲かは、なら県・京とといった文かの中
心地にちかく、交通の大切な地点だ。た
- 葦草や火葦のぎじ、つがみやこからはい
り、ていちやくしていた。
- 葦草がほうふで忍葦を作り、しろへのほ
う火などにつかわれていた。

② 甲かのせいじ体せい

- 同じ名字を共有するいちそしきがはった
つしていた。じしゅてきなはんたん力を
そなえていった。

③ 甲かのしゅう教せい

- せいしんじゅ行をする場所としてきのう
し、せいしんたんれんをつむことができた。

「いが」も甲かどちりもきょうつうすること。

① 山にがこまれて、かくれてくらすのにいい。

② 京とにちかいので、す早くじょうほうが入る。

③ 山でやく草がとれ忍やくを作れた。

④ しゅう行をする山じゅしがたくいた。

忍者が活やくした せん国時代

忍者がとく川家やすをたすけた!!

6月2日の夜あけごろ、
本のう寺のへんがおこる。

信楽を出発した家やすは、つ
げ(三重県いが市)をとおり、白
子はまに重軒ずか市)で舟倉に
のり、舟倉の中で一はぐすこす。



いいもり山のふもとで信長が死
んだことを知ると家やすたちは
すぐにおかざきじょうへしんろ
をへんろ。

朝、舟倉は大はま(あいち県へき
南市)にとちやくしこの日のうちに
おかざきじょうに帰る。

※ 堺から三河(現在の愛知県東部)まで、家やす一行がどのルートを通ったのかについては、いくつか説がある。
＜参考＞・「忍者図鑑①忍者の仕事」ベースボール・マガジン社 黒井宏光 P36
・「秘密をさぐろう! 忍者の大研究」PHP研究所 黒井宏光 P10

お田信長の味方だ。たとく川家やすは、本の
う寺のへんが起きた時さかいをたびしていた。
さかいから三かれ(あい知果)へもどるには、事
けんのあった京とを通らなくてはいけなかつ
た。この時家やすをすくったのが「いが」と「甲か
の忍者だ」といわれている。のちにいがごえと
いわれるけわしい山道をあん内し、てきのい
る京とをさけて、ぶ事に家やすをおくりとど
けた。

この一けんで忍者の力をみとめた家やすは
ばくふのいが組、甲か組として忍者をむしか
がえた。

れきしに 名をのこした ゆう名な忍者たち

忍者の名前	出身・所属	とく意わざ	
おおとのさいにゆう 大伴細入 あすか (飛鳥時代)	甲か?	か 火じゅつ	そが氏と物のべ氏の戦いで、得意の火じゅつで、 そが氏・しょうとく太子をしょうりにみちびいた。
ひたちぼうかいそん 常陸坊海尊 へいあん かまくら (平安～鎌倉)	たんば むらくもりゆう 村雲流	ふ明	くらま山で源義経をきたえた。義経の家来とな り、弁慶らとともに義経のみやこおちにしたがう。
ももちたんば 百地丹波 むらまち あづちもやま (室町～安土桃山)	いが	ふ明	織田信長のいがぜめのときには、信長軍とたた かった。

たらおみつとし 多羅尾光俊 (むろまち えど) (室町~江戸)	甲か	長生き?	いが忍者が織田信長と戦ったとき、信長がわについて活 やくした。その後、豊臣秀吉に仕え、秀吉の死後、徳川 家康に仕えた。「いがごえ」で家康をすくった。96才まで 生きた。
かとうだんぞう 加藤段蔵 (むろまち あづちももやま) (室町~安土桃山)	いが?	げん 幻じゅつ、 ジャンプ	ぼうややりを使って5m もの高さのへいをとびこえたこと から、「飛び加藤」とよばれた。牛を丸のみする「どん牛 のじゅつ」を使ったとされる。じゅつをおそれた武田信玄 にころされた。
たきがわかずます 滝川一益 (むろまち あづちももやま) (室町~安土桃山)	甲か	てっぽう	てっぽうのうでを見こまれて織田信長に仕えた。
もちづきちよじよ 望月千代女 (むろまち あづちももやま) (室町~安土桃山)	か 甲い こうようりゅう 甲陽流?	くのいち くノ一の じゅつ	れきしにのこっているただ 1 人の女忍者。多くの くノ一をそだてた。
はっとりはんぞう 服部半蔵 (むろまち えど) (室町~江戸)	みかわ 三河	ふ明	「半蔵(半三)」は、代々の党首がついだ名前。 二代目半蔵正成は家康に仕えた武しょう。家康 に江戸城を守る門のけいびをまかされる。
いしかわごえもん 石川五右衛門 (むろまち あづちももやま) (室町~安土桃山)	いが?	どろぼう	百地丹波から伊賀流忍術を学んだとされる。日 本一の大どろぼう。豊臣秀吉の家臣につかまり、 京都の三条河原で家族らとともに生きたままか まで煮殺されたという史料がのこされている。
ふうまこたろう 風魔小太郎 (あづちももやま) (安土桃山)	おだわら 小田原 ほうじょうし 北条氏	夜うち	北条氏の家臣として活やくし、忍者集団の風魔 一党をひきいた。五代目は、「身長2m、黒ひげ で、口はさけてきばが 4 本のぞいている。大声出 せば 5 キロ先までとどく」と書物に書かれてい た。

い が さ き どうじゅん 伊賀崎道順 (むらまち あづちもやま 室町~安土桃山)	いが	いが流忍 ぜんばん じゅつ全般	しろ 城ぜめを命じられ、変そうして城にしん入し、火を はなち、敵がこんらんしている間に、味方の軍ぜ いを引き入れて城ぜめを成功させた。織田信長 の伊賀ぜめのときも活やくした。
すぎたにぜんじゅうぼう 杉谷善住坊 (むらまち あづちもやま 室町~安土桃山)	甲か	てっぽう	甲かーのてっぽう達人。1570年にすずか山中 で信長の暗殺に失敗し、2年後、信長の家来にと えられて、ざんぎゃくな方法で処刑された。

*人物に関してはいろいろな説があります。

〈参考〉

- ・「忍者に学ぶ 心・技・体 正伝 忍者塾 上巻」すずき出版 黒井宏光 P35
- ・「これマジ?ひみつの超百科12 秘伝解禁!忍者超百科」ポプラ社 黒井宏光
- ・「サイエンスコナン 忍者の不思議」小学館 青山剛昌 P10~13

1676年 いが忍者の藤林保武によって
まとめられた「いが」と「甲か」に伝わる
49の忍じゅつを全22巻に
わけ、まとめたもの。



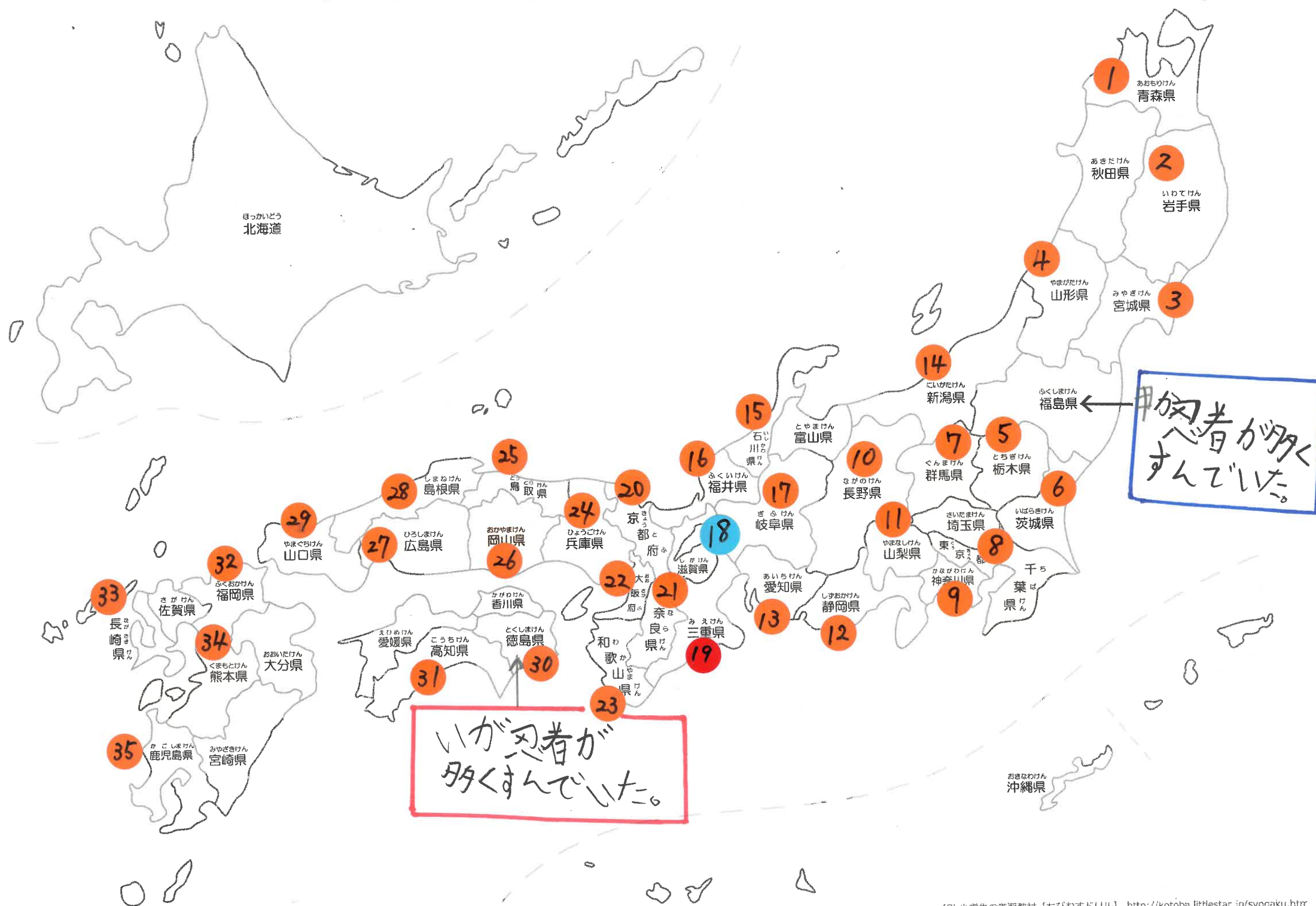
忍じゅつについて「まんが かんしゅうかい」に、
忍者について「音もなくにおいもなく、智
能なく、勇名もなし」とかかっている。
中でも、げんざいまで名をのこしている
スーパー忍者もいた。

「忍者修行マニュアル」実業之日本社
〈参考〉 山田雄司 P98

女忍者「九ノ当」の役わり
くノ一を令わせると女。おもな仕事は、てき
のやしきに女中などとしてすみこみ、じょう
ほうをあつめる。また、内があらやしきの
門やとのかぎをあけて、味方の忍者のしん入
を手だすけすることもしゅうようなやり方
だった。

忍者は「わざ」を「いのち」より大事にする!

全国忍者マップ



No	地方名	忍者のよび名 はやみち もの	忍じゅつの流派
1	青森県	早道の若 ^(甲ががレツ) しのび	中川リゅう
2	岩手県	魚とうやく	
3	宮城県	黒はは ^ギ 巾糸目	
4	山形県		羽黒リゅう
5	栃木県		ふくちりゅう・木公元リゅう
6	茨城県		神とうりゅう・木公由リゅう
7	群馬県	ワッパ・シッパ	
8	東京都	おんみつ・おにわばん	
9	神奈川県	草、かまりらっは	北条リゅう(風ま忍者のしんたみ)
10	長野県	とっは、いつなっかい真田う	あきたリゅう・青木リゅう・いとう
11	山梨県	三ツ若、とっは、すっは	申うりゅう、甲しゅうりゅうたけ押
12	静岡県		赤人葉リゅう・むきくりやうばりゅう
13	愛知県	きうだん	一全リゅう
14	新潟県	のきざる、きょうどう ^ヤ 夜と瀬	上ぎりゅう・かじりゅう
15	石川県	ぬすみ糸目	えちぜんりゅう
16	福井県	しのびのしゅう	よしつねりゅう
17	岐阜県	すっは	みのりゅう、あおかきりゅう
18	滋賀県	甲が若、甲が ^シ 若	甲かりゅう

<参考>

- ・「忍者図鑑 ② 忍者のくらし」 ベースボール・マガジン社 黒井宏光 P34,35
- ・「忍者修行マニュアル」 実業之日本社 山田雄司 P 96,97
- ・「忍者に学ぶ 心・技・体 正伝 忍者塾 上巻」 ずき出版 黒井宏光 P34

19	三重県	いかぢ いかに忍	いかぢりゅう
20	京都府	早あさの者	早雲りゅう
21	奈良県	うか見、すっぱはしのひ	うかしゅうりゅう
22	大阪府	だうこう	くすの来りゅう
23	和歌山県	ねづしゅう、さいかしゅう	ねづりゅう(きしゅうりゅう)
24	兵庫県		木村雪りゅう
25	鳥取県		出雲雪りゅう
26	岡山県		び前りゅう
27	広島県	外ぎき	ふくしまりゅう
28	島根県	はちやしゅう	
29	山口県	忍、ひめい、い、さ、ら、しゅう	たかぎりゅう
30	徳島県	いかづい	
31	高知県		み雪りゅう
32	福岡県	いみづい	黒田りゅう
33	長崎県		南はぐりゅう
34	熊本県	せきやぶり	大えりゅうハまんりゅう
35	鹿児島県	山くぐり	

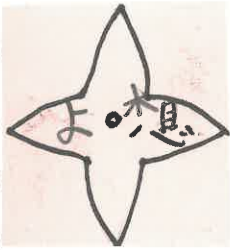
* 流派、忍者の名称に関してはいろいろな説があります。

※ りゅうとは、ひとつのまとまっただけのきりょうをえすつく「団たいや、そのき」りょう自体のこと

一番忍者が活躍したのがせん国時代いて、くがお家やすをたすけたのはすごーいと思いました。全国 of いろいろな所に忍者がいたことが分かりました。香川県には、忍者がいなかったのはなぜかな



忍者はどこに住んでいたの？



忍者は山おくて人に見つからないように、かくれてすごしていたと思、いました。山いづしのしゅ行は、山でするから忍者は山にすんでいると思、いました。山でのうきょうなぐいもして生活していると思、いました。



てきのしん入をふせぐしかけがあるやしきは、「**忍者やしき**」などといわれる。おもに大名など、身分が高く、命をねらわれるきけんがある人たちがすんでいた。

忍者の中でもすんでいたのは、火薬をあつう忍者たち。ライバルの忍者からかくしたし、もち出してにげる時間をかせいだりするため、すまにしかけを作った。

忍者がみんなすんでいたわけではない。多くの忍者は、ふつうの家にエいようできるしかけを
すんでいた。



じっさいに 忍者やしき
を見てきたよ



伊賀流忍者博物館の忍者屋敷(復元)

↑「忍者塾上巻」おき出版 黒井宏光 P14 (写真)



↑
忍者はつよゆ地
甲かの黒忍い
木の旧ふい木林家

いかりゆい忍者はく物
かんの忍ぢやしき
↑
〈カヤぶきやね〉
夏はすすしく冬は
もふのうに家をあ
たたぬる。やねの上
貝かづのうちがわを
上にしてのせると光
をはんしゃして鳥
けのこうががあた。

↑カヤぶきやね

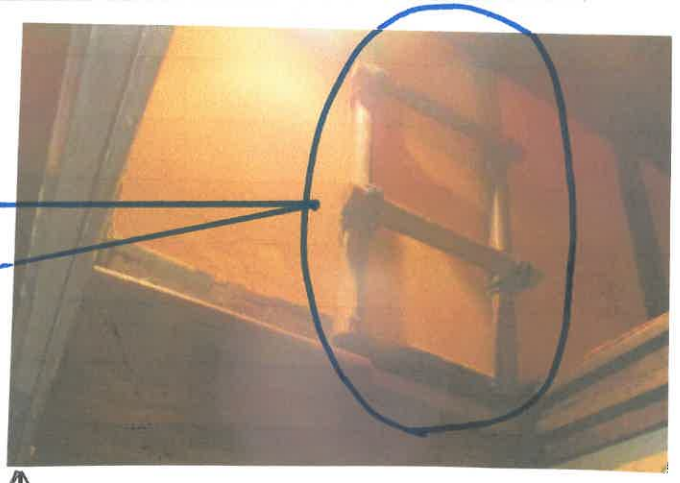
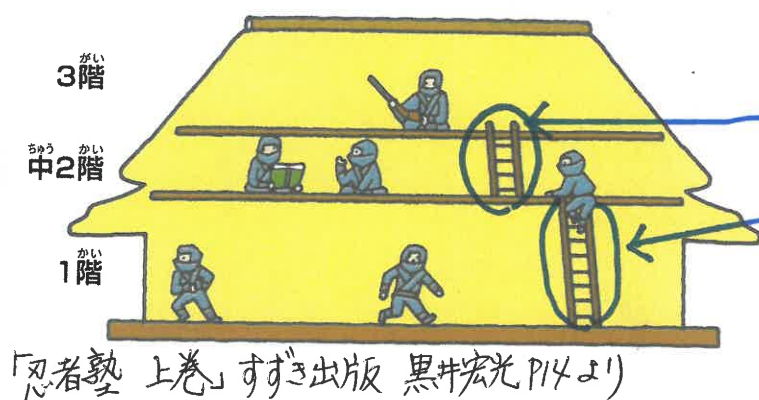


← 世かいでここだけ!!
忍者が本当に住んでいた家

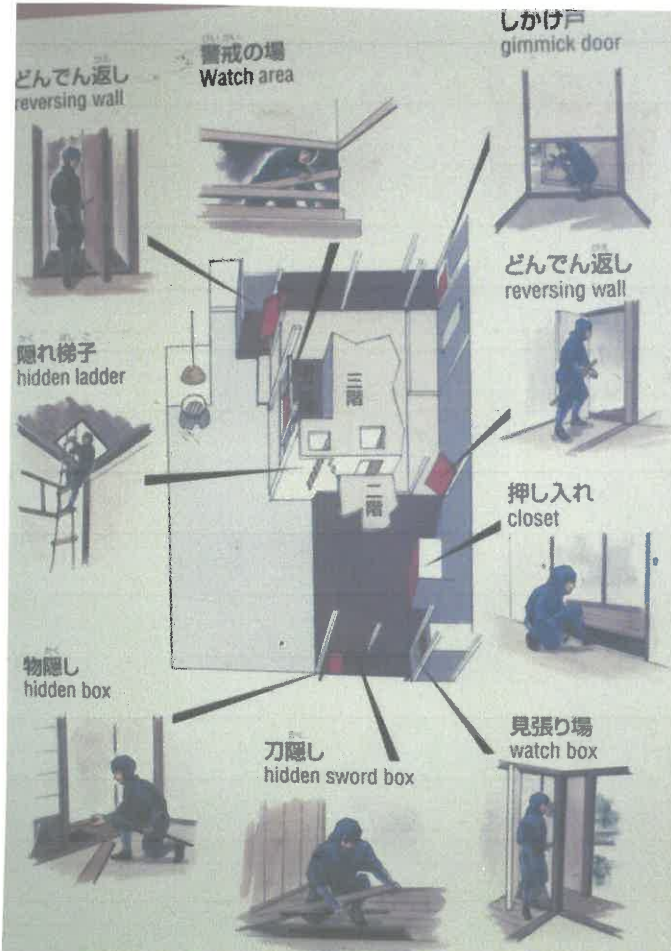
甲かへりゅう忍じゅうやしき
もち月^{つき}出^{いづ}雲^{もの}守^{かみ}きゅうたく

↑ 「忍者やしき」の外だけ見ると、いかだて

↓ 中は、中2かいやろかがある。



↑ かくしてあるはしごをおろして上がる。



忍者やしきの
の
しかけ

しかけ戸



おしてもしなくても開かないが、葉っぱなどでもちあげてあける。しずかにたがでできる。



ちか道へのかくしてしら

右手でぶきをあつかい、左手でとていをあけられるようにくわされています。ほかのちか道しごうりゅうてき、外へぬけることが出来る。



ぶつたんかくしてしら

ぶつたん下の土かべが土也下道の入口になっている。地下道へす早くい動でできる。またしん入者の足もとをぬらうこともできる。

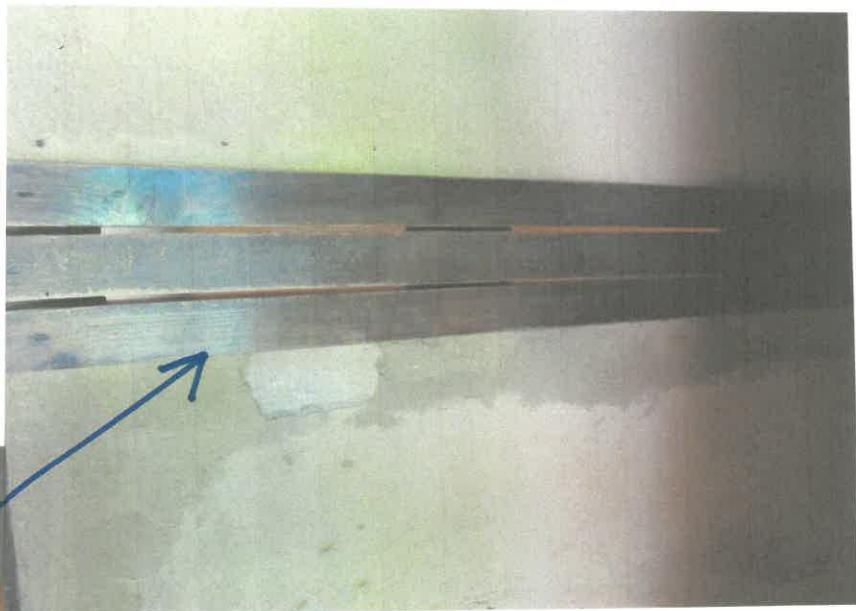


物かくし

あつめたじょうほうをかくしてい
た。家の中にかくすと見つかるきけんが
あるため家の外にかくした。
いざんは土にうめ火じにもた
えられるように工夫していた。今でいう
と金このようにして使っていた。

刀かくし

ゆかいたのいっほうのはじをい
んナギリおしナリするとゆかいたがはねお
こるしくみすはやく刀を手にてきる。



見はり

おし入れの中のかべがいろき目の高
さにあるすまから外のように見はる
しが出来る。う時は男せい155cmと
なうでいい高さになっている。



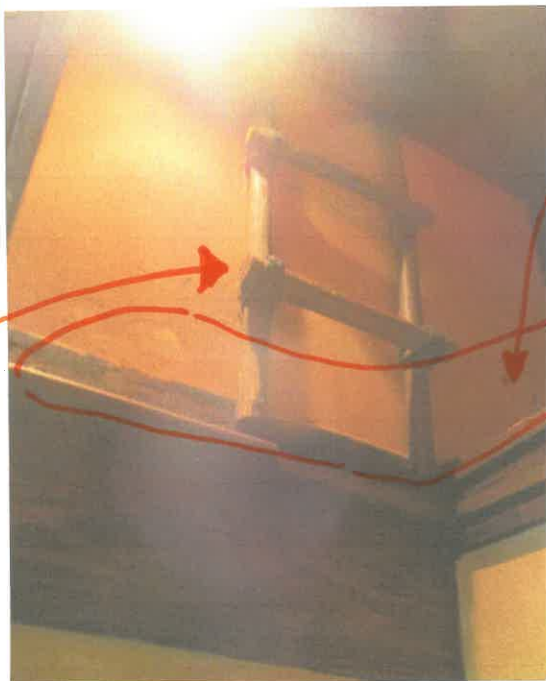
かいてんしきのとびらで、早く とんでんがえし
 身をかくすことができた。戸は同じ方こうに回らない。
 忍者は、にげる時間をかせぐことができた。



つりがいたん

おし入れにかくされたかいたん
 とめ具を外すとかいたんになる。
 中2かいに上がりそこからかくれてへや
 の木美子をかかった。

3かいへのかいたん



中2かい見はり
 場所

かくしとひら



忍じゅつ村
の
忍者の
しかけ



外へのぬけ板

家の外へとフ
いるぬけ板
があるにや
壁い戸なとから
にけることが
できた。



おとしあな

戸をあけてすくのと
ころにつくったちゅうど
「べんけいのなき戸」に
当たるしかけになっ
ている。



ぼくが手を
のはすと、
手がとどいたよ。



ひくいともい

てきがせめてきてもひくいともいで、刀をふりかざしてすすむのをじゃましてくれる。

かけいくのうらの
かくしつうろ



そのほかのしかけ

うぐいすはりのろうか
歩くとうぐいすがなくような音が
する。その音でしん入者がわかる。

じゃりをしいたり、ケケをうえたり
じゃりと同じくケケのかれ葉の上を歩
くと音がする。またケケはてっぼう
のたまよけにも役だった。

だんさ

へやによってゆかにだんさを作り、
しん入者をつまづかせる。



「忍者やしき」は外から見ると、いかいたての家に見えるけれど、中は中々かいたるかいがあつて、びっくりしました。からくりには、一つ一つ意、味があるということがわかりました。多くの家もしりをして、ぼうはんやねこよけぼうしをしていしはな。忍者やしきで「忍者」がいたころから使われていたしかけだつたのかなと思ひました。



忍者は、どんなしり行をしていたのか？



忍者は、しりけんをなけたりジャンプをしたり、てきふさをよけたりするれんしゅうをしていたと思ひます。



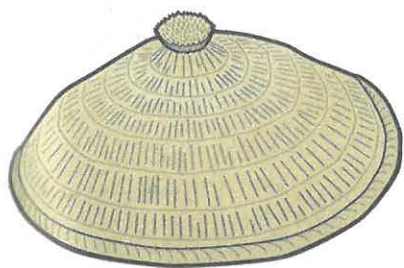
忍者はしごのため、きびしいしり行をして体をたえていた。長時間木にぶらさがつたりうでだけかきでなわをのぼつたりしてきたえていた。足の甲で歩き、足首をきたえた。

暗い戸かと明るい戸かを行き来したり、ろうそくの炎をじと見つめたりして、目もきたえていた。また、刃物をとくと石の上にはりをおとして、その音をききとることでも耳もきたえていた。ときに命のさけ人もありこわい仕事だった。こわがることをくひくするのために「こきゅう」を大切にし、べをおちつけた。

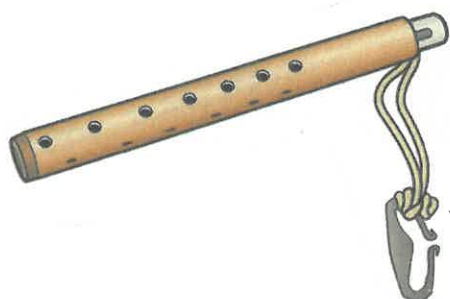
忍び道具

忍者はいつでもすぐに出発できるように六つの道具をいつも持ち歩いた。けれど

よく使った道具ではないけれど、よく使う道具として使っていた。



あみがさ

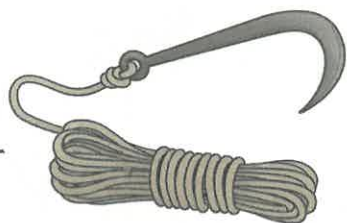


うちやけ

すみなどの火たきかきえないように入れておく

やけつつの火のライターのようなもの。

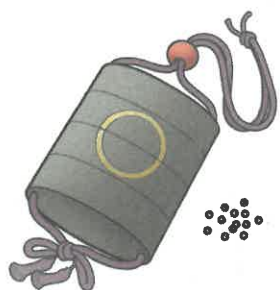
雨よけ、日よけがおをかくすこともできた。弓に矢などのバキをかくすこともあった。



かぎなわ

なわの先にてつ

のかぎをつけた物。石がきにひかてのぼる。てきをひかる。

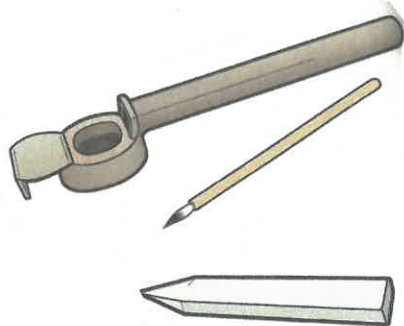


いんろう

むしよけ、薬な

どもを入れる薬入れ。

よく薬を持ち歩くこともあった。



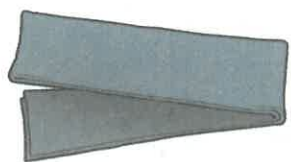
矢たて (上)
石いり (下)

矢たてはすみじい

でのセット。石いりではながまへのてい言を書く道具。

三尺手ぬぐい

約110cmのもめん手ぬぐい。ずきん、ほうたいや、水ものむために、どろ水のうけにもつかっていた。



- ・「サイエンスコナン 忍者の不思議」小学館 青山剛昌 P40.41より<参考>
- ・「忍者修行マニュアル」実業之日本社 山田雄司 P78

走力のしゅ行

できからにげたりするため
に忍者は速くとおくへ
走れなければならなかった

より速く走るため、忍者はしゅトレーニングは



しゅに長いぬのを
つけて、先が地面
につかないよう
に走る。



むねにかさね、
糸氏などをあて
ておとさないよう
に走る。

長く走るための忍者しゅききゅうほう



「ふたえいばき」というくしゅなききゅうほうを行
なった。「すう・はく・はく・すう・はく・すう・はく」
ききゅうにしゅ中でき、つかれをかんいにくがた。



ある忍者が7日間で江戸(東
京都)からかごしままで960km走
った!! マラソン(42.195km)を1日
で3回ちゅつと走った計算になる。

960kmも走れるなんてすごい!!

ちややくじつしゅイテ

ジャンプ力をきたえる忍者しき
トレーニングほう

木か木へというつ、たり、
かへをし、えたり、忍者
は、身がるでなければいけ
ないの、ジャンプ力をきた
えた。

せい長の早 いし、く物
(あさ) をうえて、毎日
とし、こえるれんしゅをした。

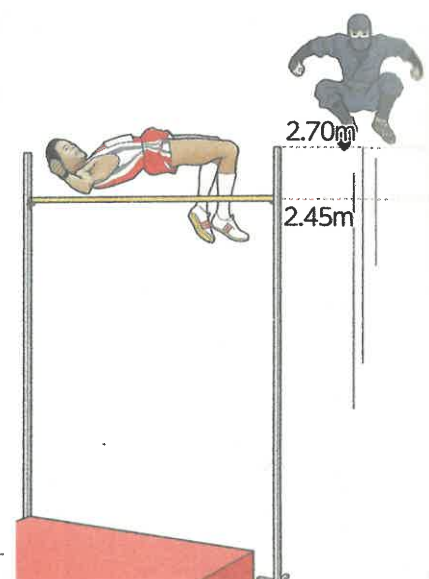


あさ
麻は2か月で
大人のせたいに
せいちょうする。

かべなど、に立てかけた
いた、をかけはがる。



忍者の中には、走り高
とびのように、し、走をつな
ぎに、やく2m70cm、まち
ようやくできたものもいた。



「サイエンス コナン 忍者の不思議」 N学館 青山剛昌 P92. 93 より

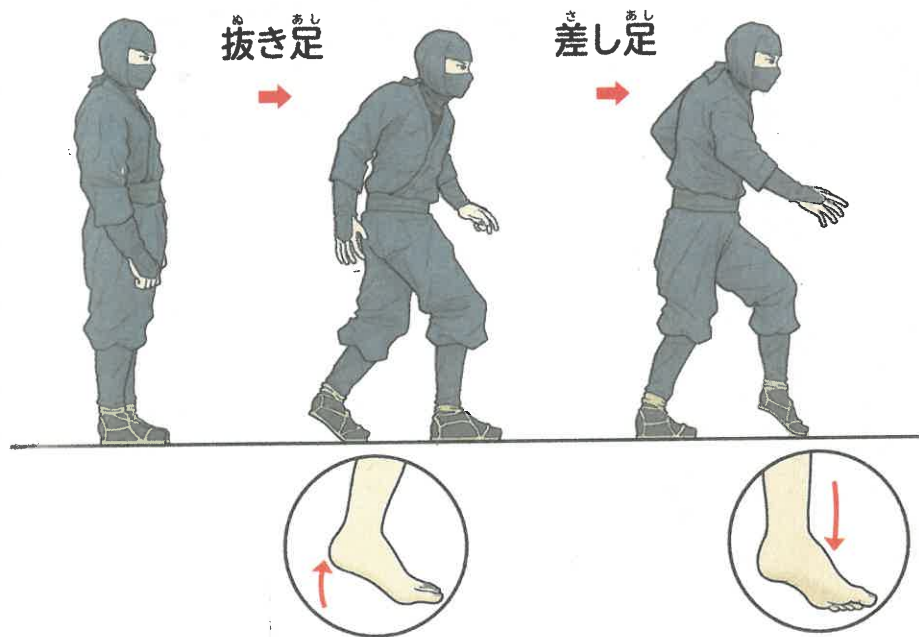
忍者の歩ほう

むかしの夜は今はちがいと

てもしずか、で、ちよつとし、音でもよくいびいた。忍者は、
音をたてず、に、歩くれんしゅをたくさんした。

<参考>

「ぬき足+さし足=忍び足」



かかとからゆっくり上げ、小ゆびがわからしずかにおろす。

しん算と歩



もっとも音をたてず、物につまずかない歩き方

きつね走り (左)
犬走り (右)



四つんばいいて歩く。ゆが下や天井うらで立って歩けない戸介で使った。

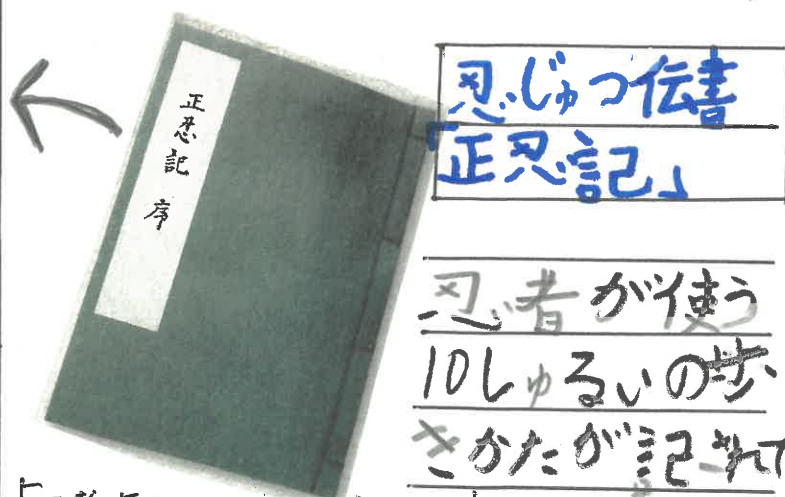
うき足



足をつま先からおろす歩き方。おち葉の音がする戸介で使っていた。

<足なみ+がしょう>

ぬき足	忍び足をさす
すり足	地面をすりするように歩く
しめ足	内またをすりあわせで歩く。
といひ足	石をいひように歩く。
かた足	かた足といひで歩く。
大足	大またで歩く。
小足	小またで歩く。
きさみ足	小さきみに歩く。
走り足	早く歩く。
つねの足	右足と右手、左足と左手を同時にたてて歩く。



「忍者修行マニュアル」実行之日本社 いる。山田雄司 P54.55.99 より

「よこ走り」にちょうせんたよ。

かべがせなかにあるので、
歩ははき大きくして速く
歩ける。

「のぼる」しゅ行



高い石かべがせなかに
のぼるのに、ふたぶんからうでやわいの
力で自分の体をい上げる力をき
たえおく。

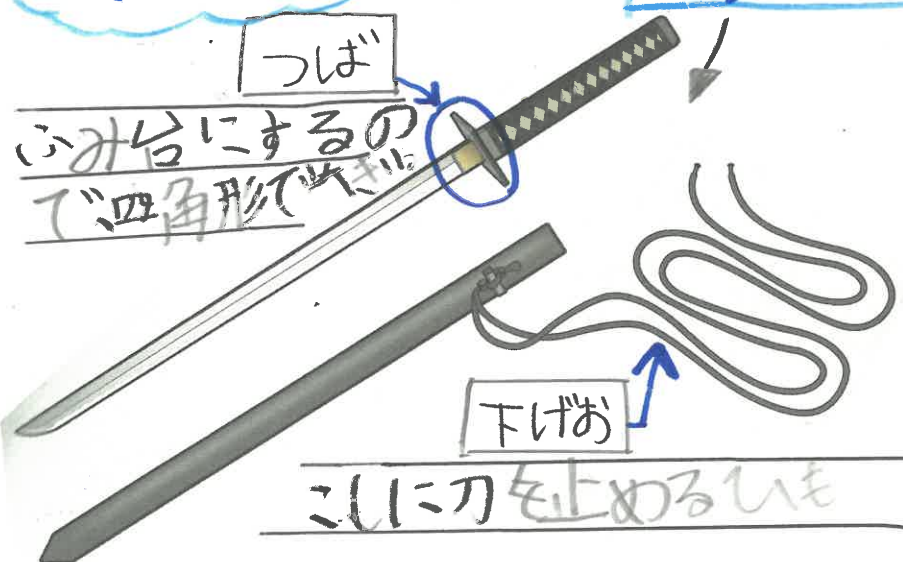
伊賀 上野城



しゅき

かべをのぼり
おりする道具

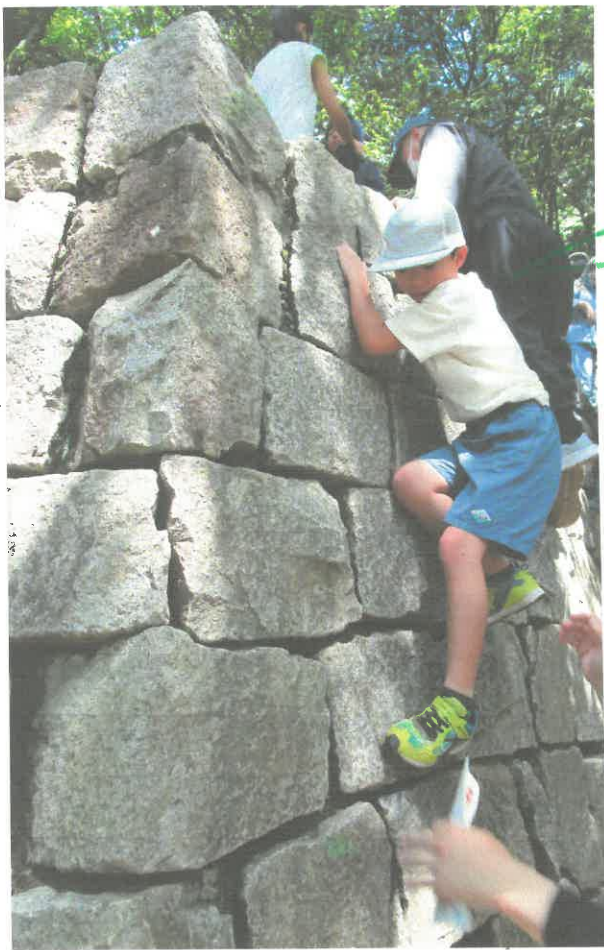
つり刀



つり刀のほう

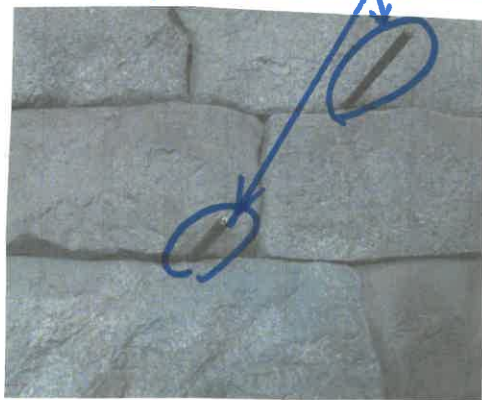
かべに立てかけた
刀でかべをのぼる
のぼったあとに下げ
おで刀をい上げる。





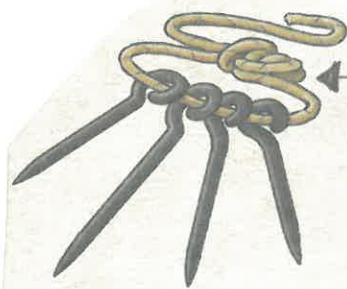
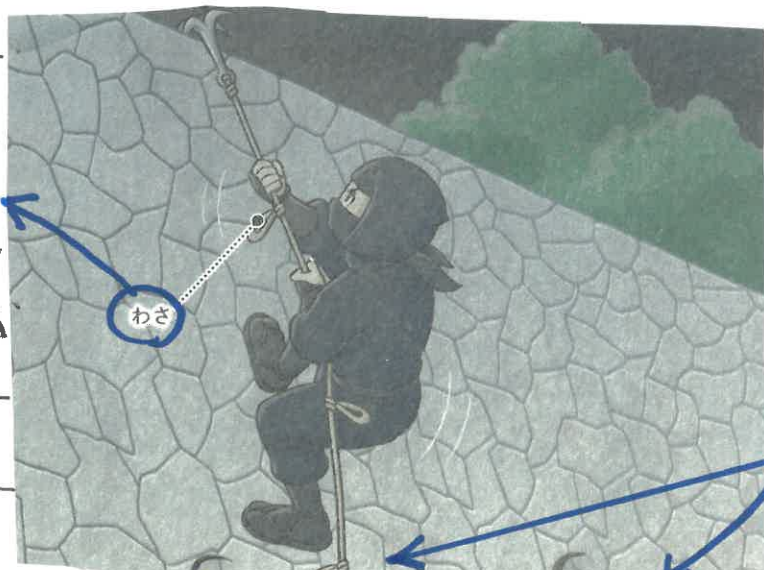
「いしがきのぼり」にちょうせんしたよ。
足や手をかけるところがみずかしい。

五オムくぎ



こうちにもって石と石の
間にねじ入れながら
のぼることもあった。

「わさ」という
むすび目に
手や足をかけて
石がきをのぼ
る。



六ぜん

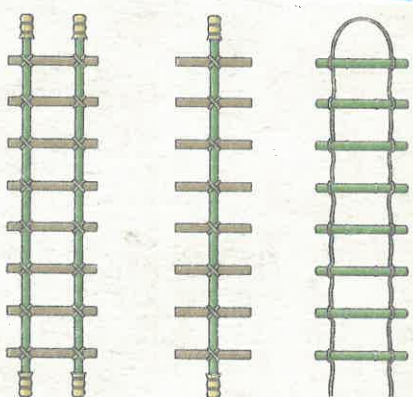
石がきのすき

まにさしこんでつかう。

かきなわ

「おろる」しゅい

はしご



▲結びはしご ▲飛びはしご ▲巻きはしご

大人数で「忍び」
こむときに「へんりた」
ッナ。

土也おりがき



高いところからとびお
りる時ふろしきなど
を身にもといちかく土

のしょうがきをわわらぐ。

足だけでなくうみもつ
かいねのまねをしていっ
と、ちかくする。

「わたる」しゅ行

忍者は、火やくや、みっ書などぬうしては
いけない物をもっているため、氷きをま
ていたりみおな物でツ作たりした。

氷き

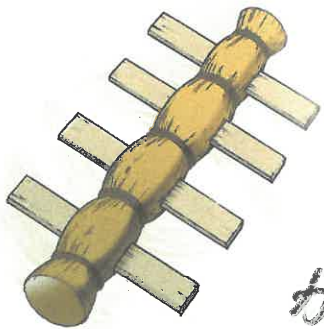
川やせななどの水面をわたる
ときに使う道具。

「歩くのはさすが
しそうだなあ。」

水ではすぐにしずむぬま

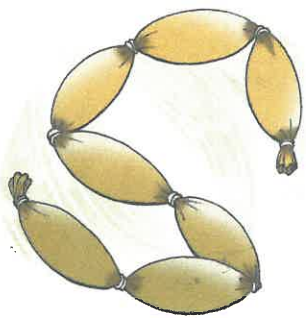
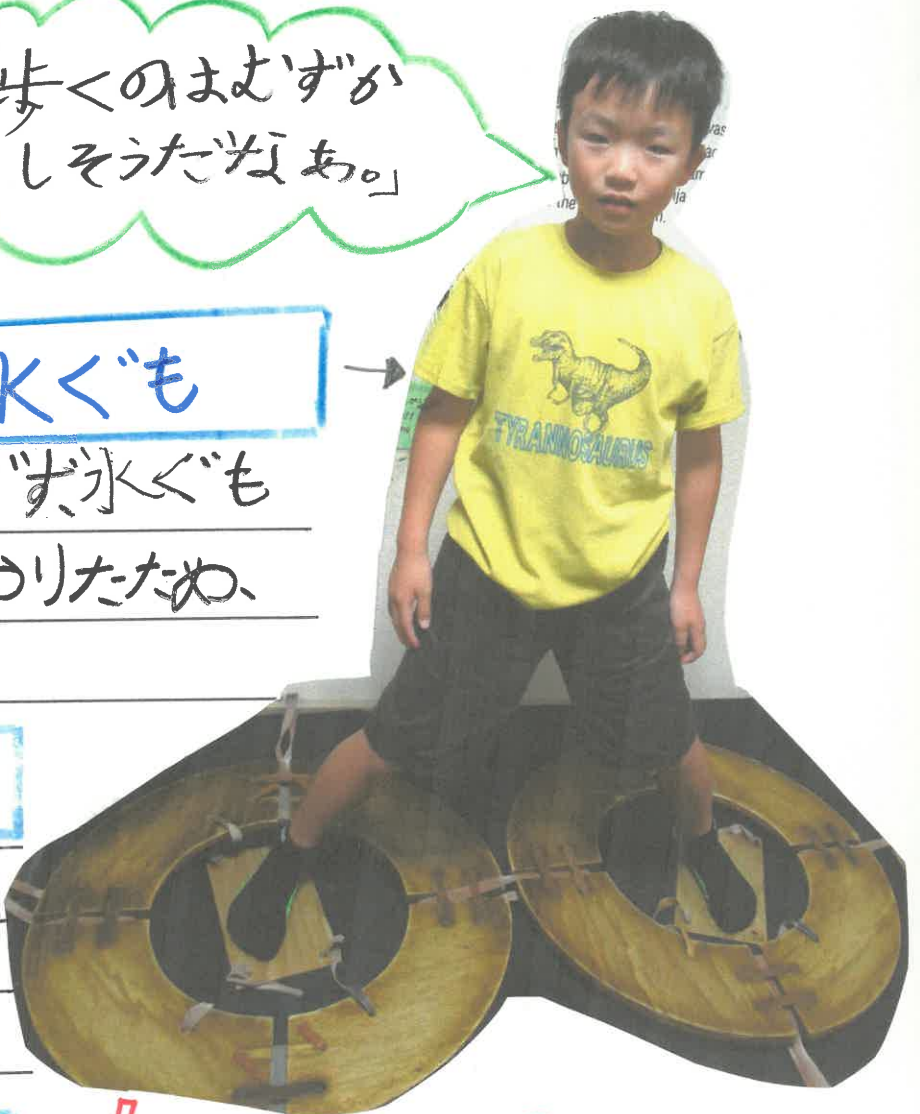
水ぐも

ほりでは、ドロドロで「およげず」水ぐも
で歩くようにしてすむ。四つにおりたため、
持ちばひかてできる。



がまいがた

がまは水への野草
太いたばにする。
がまのふがでうかう。



うき玉

どうぶつのちゅうに空気
を入れてふくらませた
うきばくろ。こしやたす

きにしてうきわがわりに使っていた。

「およく」しゅ行

忍者は速さよりしずかさ第一!!
てきのべをぬらい冬においで
しん入した。酒ものみ体をあた
ためたりする。

・「忍者大図鑑 人物・忍具・忍術」金星社 山田雄司P90.91より

〈参考〉
・「忍者図鑑① 忍者の仕事」ベースボール・マガジン社 黒井宏光P18.19

日本一の高石がき!!

高さ30mの高石がきは大
さがじょうたらんで「日本一の高

上野原じょうの高石がき



Web ページ名「2021 年 7 月 10 日・三重県伊賀市の伊賀上野城公式ホームページ」より

Web サイト名「伊賀上野城 見どころ」高石垣と宝物」アクセス日 2023.8.26

<https://www.bing.com/search?pglt=41&q=%E4%BC%8A%E8%B3%80%E4%B8%8A%E9%87%8E%E5%9F%8E&cid=821e61a411db4b4fb4eb92bb15e80195&aqs=edge.0.019.4197j0j1&FORM=ANAB01&PC=LCTS>

「つなわたり」をしたよ。



〈そのほかのしゅ行〉

子どものころにするしゅ行

・かけ足

・木のぼり

・平行かんかくのしゅ行(丸太やなわを使う)

・はんしんけいのしゅ行(ぶら下がり木でハンパ)

・かくれんぼやわにこ、などのあそびも

しゅうなしゅ行

・ナにし大きくなるしゅ行

・がけのぼり

・おまきのくねん

・山がけ(道のない山を全速力で走る)

「目」をきたえるしゅ行

- ・くらしい戸と明るい戸を行き来する。
- ・うすくの炭を見つめて、くすりみですごす忍者の目になれるしゅ行。
- ・あんどんにはられた糸にはりてあなを開け、その穴を数えるしゅ行

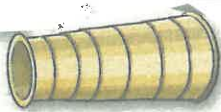
「忍者修行マニュアル」実業之日本社 山田雄司 P.50、57より



「耳」をきたえるしゅ行

ゆか下ないて、てきのかい話

をぬすみぎさしい小さな音でも聞きのかきないしゅ行。

- ・しずかなへやで石の上に、はりをおとし、その音をききとる。
- ・「聞きづつ」で、風雨の時は、どう具も使った。

べ(メンタル・トレーニング)重たないじををしな!

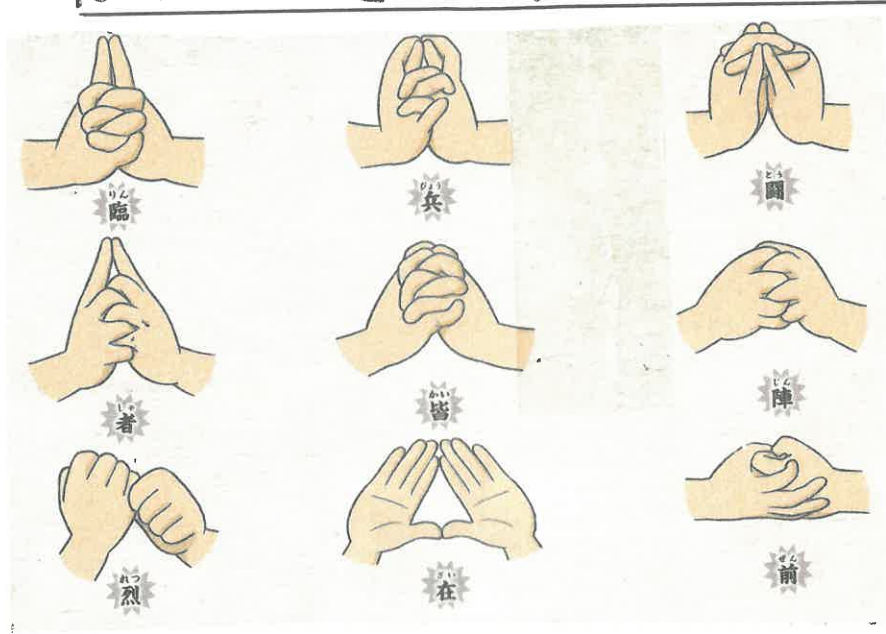
忍者のじとはいのちがけ。きょうふがいあんのうちから、れいせいさをいじし、おちついてうどうできるよう、忍者はべをきたえておくひつようがある。

バをおちつけう気を出す「九字ご身はえ」

忍者がとなえる九字「**臨・兵・闘・者・皆・陣・烈・在・前**」

読み方：「へいにのそんでたたかう者はみなじんれつ前にあり」

意味：「たたかう時は矢とうに立ってむかへていく」



てきのしろに忍びにむ前に、
忍者は九字をとえ、ゆび
を糸目みあわせ、ゆう気を
ふるいたたせた。

「忍者修行マニュアル」実業之日本社 山田雄司 P40より P57

こきゅうのしゅ行は



水をつけた糸紙をは
なのあたまにつけて
いさでかみかわち

ないはうに、こきゅうをするむそく忍、というしゅ行。これにより
こきゅうをととのえ、バをおちつけた。

ふきなどをおちつかうざじゅつをみかくしゅイテ

チリけん

チリけんは、さむらいがけんしゅうすることか
多く、忍者はあまり使わなかった。とくして高かなため、
もっているとおやしまれるので、くぎやしを、使った。
刃先にとくをぬることもあった。

車判んに火なつに
火をつけて火事を発生さる

平がた手りけん
いろいろな形がある



じゅうほうしりけん
十方手裏剣



まんじしりけん
卍手裏剣



さんぼうしりけん
三方手裏剣



ろっぽうしりけん
六方手裏剣



じゅうじしりけん
十字手裏剣



てつまり
鉄槌



ながまんじしりけん
流れ卍手裏剣



「忍者修行マニュアル」実業之日本社 P.61より



かとしホケットに入れ
て、バそうなどを守るば
つ具として使った。

「サイエンスコナン 忍者の不思議」小学館 P.47より

手りけんはお
もしろかったよ。
一番近いま
に手りけんを
うったよ。

あんき
暗器

忍者のかくし持った暗器

てぎのうでをつかんだり彦負を
ひかいたりする。

かくし
角手



パンチのいカ
がはいそう。



てっけん



ぬいはつりを口に
みあい手の彦負
にむけていき出すじゅつ。



ふくみはり

つつに小さな矢を入
れ、きにいきかける。
矢の先にどくをぬる。
横ばいにもつかわれた。



いき矢

つえの中に刀をかくしていき。



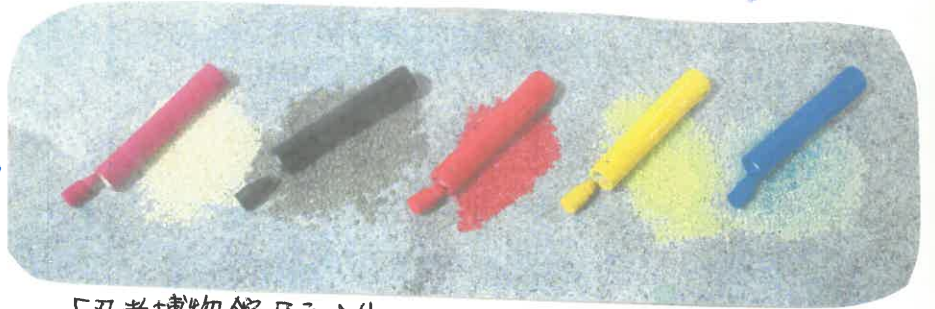
仕こみづえ

「コナンサイエンス 忍者の不思議」P.50.51.53より

忍者のちえ

伝たつじゅつ

五色米(ごしきまい)



「忍者博物館」展示より

五色米

Goshikimai

【五色米暗号作り】

忍者たちは青、黄、赤、黒、紫に染めた米粒の組合せで暗号にしていました。野球のサインのようにそのつど決めていたのかもしれませんが。

Goshikimai Cipher using rice grains dyed in five colors

The ninja used rice grains dyed blue, yellow, red, black, and purple to create a cipher by their combinations. Ciphers could be arranged each time when the need arose, like baseball signals. A blue grain could be "a" and a yellow one "b."

ワ行 (Wa)	ラ行 (Ra)	ヤ行 (Ya)	マ行 (Ma)	ハ行 (Ha)	ナ行 (Na)	タ行 (Ta)	サ行 (Sa)	カ行 (Ka)	ア行 (A)	
わ (Wa)	ら (Ra)	や (Ya)	ま (Ma)	は (Ha)	な (Na)	た (Ta)	さ (Sa)	か (Ka)	あ (A)	ア段 (a)
り (Ri)		み (Mi)	ひ (Hi)	に (Ni)	ち (Chi)	し (Shi)	き (Ki)	い (I)		イ段 (i)
を (Wo)	る (Ru)	ゆ (Yu)	む (Mu)	ふ (Fu)	ぬ (Nu)	つ (Tsu)	ず (Su)	く (Ku)	う (U)	ウ段 (u)
れ (Re)		め (Me)	へ (He)	ね (Ne)	て (Te)	せ (Se)	け (Ke)	え (E)		エ段 (e)
ん (N)	ろ (Ro)	よ (Yo)	も (Mo)	ほ (Ho)	の (No)	と (To)	そ (So)	こ (Ko)	お (O)	オ段 (o)

なにかまだけにしかよめない
文字や記こうを使う。色をつ
けるせんうをにおいて、と
りなとに食べられることかな。

とん走じゅつ

にげるためのじゅつ

火器

火薬を使った



まきびし

おっちからにける
日すに地面にまく。
いはと身うごき
がとれなくなる。竹づつに入れる。

火じゅつ

鳥の子

けむりて目
をくらませに
げる道具。



玉の直い40mm

「忍者ってナンダ!?」角川書店 P59より

「サイエンス コン 忍者の不思議」小学館 P58より

薬じゅつ

薬草

ちやう薬やとく薬なをちやう合して、自分やてき
につかうじゅつ。薬草のききめをよく知っている。



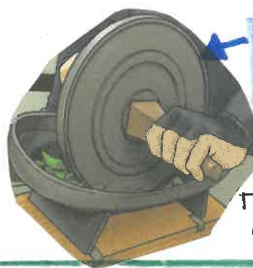
オオバコ

せき止め、おしっこをよく出す
薬をのんで、けがには
ると、いたみ止めになる。



よもぎ

血を止める。よもぎの
しるを口にふくめ、口の
においをけす。



薬けん

薬草をすり
つぶしてこな薬にする道具。

「忍者大図鑑」金の星社 山田雄司 P130より



馬ちゃん子

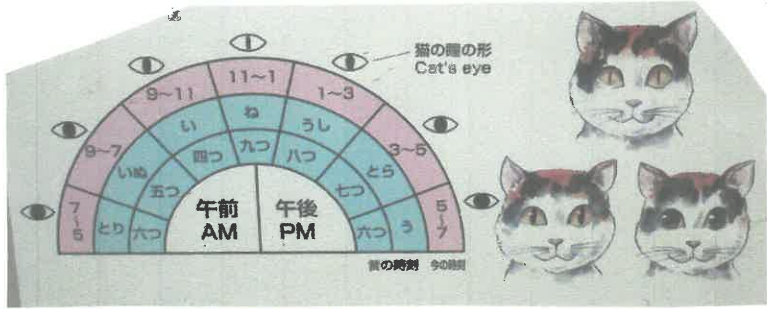
番犬に馬ちゃん子のしる
けからもうとくをとり、おに
ぎりにもがいて、犬に食べ
させ、にんおのためにこす
こともあった。

「サイエンス コン 忍者の不思議」小学館 P82より

天さつ天じゅつ

自せんや身の回りをかんさつし、
「方位」「日寺こく」「天気」をよそくしたこ

ネコの目時計

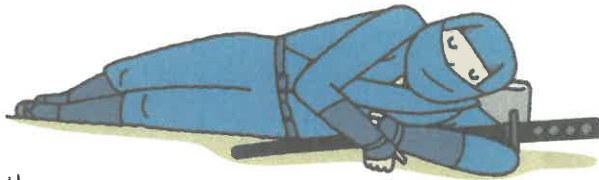


「忍者博物館」展示より

ネコの目は、明るさによってひとみの
大きさがかわるせいしつをり用した
方ほう。天気などにもえいさされ、
いつもナニしいとはかぎらない。

野予えいじゅつ

「忍者塾 下巻」雑誌版 黒い宏光P9より



どんな時も左を下にし、
バズラをすり、右手す
くくにいもつかえる。



調べると、このほかにも「水の見つけかた」や「おやくじゅつ」や、食事をぬくしゅ行などまだまだしゅ行がたく
さんあることが分かった。

忍者って、一体どんな食事をしてたの？

＜ふだんの食事＞

身がるに重くなため、たん
はやくしつが高く、ていカロ
の食事をしていた。

主食：アワ、ヒエなどのさくくド

いもるい、ハト麦。

おかず：大こん、にんじんなど
ビタミンほうふな野さい。

★においがきついニラ、ニンニク、

うずらのたまご、黒米などを食っていた。

重カ物の肉などは、てきに気づかれるので、口にしない。

＜けいたい食＞

のどのがあきをいやす氷が丸

『萬川集海』水渴丸レシピ

【材料】

- ◎つぶした梅干し…1両
- ◎氷砂糖…2匁
- ◎麦門冬
- (せき止め・消化を助ける薬)…1匁

ざいりやを糸でくし丸める。

一日3つづいて「おなかをみたすきかつ丸」

『萬川集海』飢渴丸レシピ

【材料】

- ◎ニンジン…10両
- ◎ソバ粉…20両
- ◎小麦粉…20両
- ◎薯蕷(ナガイモ)…20両
- ◎甘草…1両
- ◎ヨクイニン(ハトムギ)…10両
- ◎もち米の粉…20両

ざいりやをこねにし、
3年物の古い酒ろ
なすにひたし、かん
そえたら丸める。

「忍者博物館」展示資料より
「忍者ってナンジ!」角書店P9より

おわりに

ぼくは、はじめ忍者は、たたかう人だと思っていたけれど、自由研究で調べていくと、じょうほうを集めて、大名たちにどんなことがあっても、さい後までたたかいをさせて、生きぬいて、じょうほうを伝えることがしめいだったということが分かりました。

そのために、自分の足でどこまでも走ったり、てきに見つからないための歩き方や、ふだん、のう業で使っているかまなどを武器にして、てきにくろされないように、にげたりする方法を考えたり、しゅ行をしたりしていた忍者は、すごいと思いました。また、忍者はちえをしぼって、五色米を暗号にしたり、火薬を使った武器を作ったり、植物で薬を作ったりして、薬ざいしや花火しみたいに、いろいろな物を作ることができるのも、すごいと思いました。忍者の「七方出」では、じょうほうを多く集めるために、変そうをしたり、顔にどくをぬったり、お経をおぼえたりして、自分の仕事のためなら何でもする忍者にびっくりしました。

ぼくが一番すごいと思ったことは、せん国時代に忍者が「とく川家やす」を助けたことです。歴史の本には書いていないけれど、忍者は、せん国時代をささえたヒーローだったんだと思いました。忍者は人に知られずに行動することがおきてだったので、歴史の記ろくにはのこされていないことが多かったんだと思いました。でも、ぼくは、こんなにすごい忍者のことをもっともっと、みんなに知ってほしいと思います。

この自由研究で、「忍者がいったい何者だったのか？」のなぞをとくことができました。ぼくの「忍者ブック」の中には、まだまだ書ききれないほどの体や心のしゅ行やちえがあります。夏休みに、ぼくを忍者の里の「いが」と「甲か」につれて行ってくれたお父さん、お母さんありがとう。ぼくの住む香川県に忍者がいたという記ろくはなかったので、なぜなのか調べていきたいです。

ぼくは、すぐにじょうほうをきかいにたよってしまいます。でも、忍者のように、自ぜんにももっと目をむけて、自分の頭で考えて行動していきたいと思います。

【参考・引用文献リスト】

(図書を参考にした場合)

No.	著者名	書名	出版社名	出版年	ページ	使った図書館名と せいきゅう記号
1	細川 貴之	イラストでわかる 日本の歴史じてん	成美堂	2022年	P 43	高松市中央図書館 210 イラ
2	尼子騒兵衛	朝日こども百科 月刊はてなクラブ 乱太郎の忍者の世界	朝日新聞社	1994年 8月号	全部	高松市中央図書館 789 アマ
3	尼子騒兵衛	乱太郎の忍者の世界	朝日新聞社	1996年	全部	高松市中央図書館 789 アマ
4	黒井宏光	秘密をさぐろう!、忍者の大研究 武器・道具からおどろきの知恵 まで	PHP 研究所	2012年	全部	高松市中央図書館 789 ニン
5	仁佐 クニヒコ	なるほど忍者大図鑑	国土社	2009年	全部	高松市中央図書館 789 ヒサ
6	黒井宏光	忍者に学ぶ 心・技・体 正伝 忍者塾 上巻	すずき出版	2011年	全部	高松市中央図書館 789 セー1
7	黒井宏光	忍者に学ぶ 心・技・体 正伝 忍者塾 下巻	すずき出版	2011年	全部	高松市中央図書館 789 セー2
8	黒井宏光	ビジュアル 忍者図鑑 ① 忍者の仕事	ベースボール・ マガジン社	2011年	全部	高松市中央図書館 789 ヒシー1
9	黒井宏光	ビジュアル 忍者図鑑 ② 忍者のくらし	ベースボール・ マガジン社	2011年	全部	高松市中央図書館 789 ヒシー2
10	山田雄司	忍者大図鑑 人物・忍具・忍術	金の星社	2017年	全部	高松市中央図書館 789 ニン
11	山田雄司	「もしも?」の図鑑 忍者修行マニュアル	実業之日本社	2015年	全部	高松市中央図書館 789 ニン
12	アフタフ・バー バン	忍者になろう みんなと修行いざ! わくわく入門の巻	いかだ社	2011年	全部	高松市中央図書館 789 ニン
13	アフタフ・バー バン	忍者になろう みんなと修行いざ! からくり屋敷・忍者合戦の巻	いかだ社	2011年	全部	高松市中央図書館 789 ニン

14	吉川 豊	ドキドキ!忍者教室	理論社	2006年	全部	高松市中央図書館 789 ヨシ
15	菊池 馨	「忍たま乱太郎」に学ぶ忍者の教科書	データハウス	1994年	全部	高松市中央図書館 789 キク
16	初見 良昭	君にもなれる忍者	あけぼの少年文庫	昭和59年	全部	高松市中央図書館 789 キミ
17	嵐山 光三郎	ザ・ニンジャ 猿飛佐助	講談社 KK 文庫	1994年	全部	高松市中央図書館 913 アラ
18	黒井 宏光	忍者 完全攻略本	スタジオタック クリエイティブ	2011年	全部	高松市中央図書館 789 クロ
19	黒井 宏光	忍者図鑑	ブロンズ新社	2000年	全部	高松市中央図書館 789 クロ
20	アフタフ・バーバン	まるごと にんじゃ	草土文化	2002年	全部	高松市中央図書館 789 マル
21	静霞 薫	戦国忍者列伝 風魔小太郎・雑賀孫市・加藤段蔵	ポプラ社	2020年	全部	高松市中央図書館 210 セン
22	黒井 宏光	これマジ? ひみつの超百科⑫ 秘伝解禁!忍者超百科	ポプラ社	2017年	全部	高松市中央図書館 789 ヒテ
23	青山 剛昌	サイエンスコナン 忍者の不思議	小学館	2016年	全部	高松市中央図書館 789 サイ
24	小和田 哲男 山田 雄司	超リアル 戦国 武士と忍者の戦い図鑑	GB	2020年	全部	私物
25	山田 雄司	The NINJA 一忍者ってナンジャ!?	KADOKAWA	2016年	全部	私物

(web の場合)

Web を制作した 人・団体	Web ページ名	Web サイト名	更新年月日	URL	アクセス年月日
公益財団法人 伊賀文化産業協会	三重県伊賀市の伊賀 上野城公式ホームペ ージ	「伊賀上野城 見ど ころ」「高石垣と宝物」	—	https://www.bing.com/search?pglt	2023. 8. 26

Sketch Book

作品の裏面に貼付してください。

↓個人提出の場合は記載不要です

「第12回 高松市 図書館を使った 調べる学習コンクール」作品応募カード		学校用受付番号 (学校記入欄)	作品番号(事務局記入欄)	
			中・夢・牟 国・香	受付№ 2
部 門	(□に✓を入れてください。)			
	☐ 小学校1・2年生の部 ☒ 小学校3・4年生の部 ☐ 小学校5・6年の部 ☐ 中学生の部			
タイトル	忍者って 何者?! ぼくの「忍者ブック」			
ふりがな 氏 名	た どころ みずき 田 所 瑞基			
学 校	高松市立 亀阜 ☒ 小学校 / 中学校 [3]年生			

※作成者が複数の場合は全員の名前を記載してください。